



### たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 8月20日(木) 午前10:30～
- ・ 9月3日(木) 午前10:30～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室  
小さいお子さまのためのおはなし会です。  
親子で一緒にお越しください。

### 婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 8月23日(日) 午前10:30～
- ・ 場所 小川公民館 2階
- ・ 9月12日(土) 午後2:00～
- ・ 場所 馬頭図書館 児童室  
おはなし上手なボランティアさんが  
昔ばなしの絵本や紙しばいを  
読んでくれます。



### 工作教室「ダンボールでつくるスタンプと写真立て」

- ・ 8月27日(木) 午後2:00～3:30
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室
- ・ 募集人数 20人 (先着順)
- ・ 申し込み 馬頭図書館 ☎0287-92-5015  
小学生を対象とした工作教室(無料)です。  
夏の思い出の写真を持ってきて飾ろう。

### 読書会

- ・ 9月9日(水) 午後1:30～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室
- ・ テキスト「白洲次郎占領を背負った男」 北 康利/著  
和やかな雰囲気です語り合っています。  
興味のある方はお気軽にどうぞ。

### 小川図書館館内整理休館

- ・ 9月8日(火)～11日(金)
- 小川図書館は、図書整理のため、上記期間休館します。  
休館中の資料の返却は、馬頭図書館のカウンターまたは  
返却ポストをご利用ください。

### 馬頭図書館・小川図書館の休館日 (8/16～9/15)

共通：8月31日(月)

#### 馬頭図書館休館日

8月17日(月)、24日(月)  
9月7日(月)、14日(月)

#### 小川図書館休館日

8月21日(金)、28日(金)  
9月4日(金)



### お話し会

- ・ 8月19日(水) 午前10:00～  
まほろばがたりの会のみなさんの楽しいお話です。  
みんなであそぶ。

### 手芸教室

- ・ 8月21日(金) 午前9:30～  
しぼり染めでオリジナルのバンダナを作りましょう。
- ・ 参加申し込み 8月18日(火)まで
- ・ 材料費 150円

### 自由に絵をかこう

- ・ 8月27日(木) 午前10:00～  
好きな絵を思いっきり描こう。  
夏休みの宿題をしたい人もどうぞ。  
(夏休みの宿題の場合は画用紙を持ってきてね)



### なかよしひろば

- ・ 9月10日(木) 午前10:00～  
絵の具であそぼう。
- ・ 参加申し込み 9月8日(火)まで
- ・ 参加費 50円 (おやつ代)

### 「児童館」 8月16日～9月15日 のお休み

開館時間

午前9時～午後5時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15				



### 今月の表紙

小川地区で山車引き

7月19日、小川地区で地元保存会主催の山車巡行が行われました。小川公民館で行われた出発式では、和泉貴保存会長が「年に一度の夏祭り、遠く響くお囃子が地元の皆さんの癒しになれば」とあいさつ。まほろば子ども太鼓が披露された後、大人や子どもたちに引かれた山車2台は、梅雨明けの強い日差しの下、祭囃子を響かせて町内各地を練り歩きました。

縄文人の祈り

ただいま、なす風土記の丘資料館では、三輪仲町遺跡（那珂川町小川）に暮らした縄文人たちの道具から、彼らの生活を探っていくという展示会を開催中です。

縄文人たちは、草や木などの自然を上手に利用し、いろいろな道具を考え、工夫して生活していました。狩りや漁



土偶 三輪仲町遺跡出土

などで食べ物を手に入れるための道具、調理するための道具などは、私たちに何千年も前に生きた人たちの暮らしぶりを教えてくれます。

そんな道具たちの中に、普段の生活では使われないと思われるものがあります。それらは祈りのために使われたのではないかと考えられ、代表的な祈りの道具のひとつに土偶と呼ばれるものがあります。土偶は粘土をこねて、人の体をかたどってつくった素焼きのやきものです。約一万年続く縄文時代の間、北海道から九州までの日本列島の各地でつくられ続けました。

そんな土偶たちは様々な姿かたちをしています。人だとかかるようなものもあれば、精霊か何かを表現したのではと考えられるものや、体育すわりをしていたり、子どもをおぶったり抱いたり、ユニークな姿をしたものなどがあり

ます。それらの多くは乳房の表現があったり、お腹が大きい妊婦であったりと、女性を表しているのではないかと考えられています。また、体の一部が壊された形で見つかることが多いのも特徴のひとつです。

それでは土偶は何の目的でつくられ、どのように使用されたのか。残念ながら明確なことは分かっていません。しかし、古くから日本には、山や木、火や水などのすべてのものに神様が宿っているという考えがあります。自然と共に生活していた縄文人は、そうした自然に感謝し、食べ物がたくさんとれるように祈って暮らしていたのでしよう。

動植物の繁殖・豊穡、子孫の繁栄や安産、子どもの健やかな成長、病氣平癒などを自然に宿る神様に祈ることもまた大切な生活の一部だったのかもしれない。

時代が変わっても、人が祈る心は変わらない。ユニークな姿をした土偶たちは、それを私たちに伝えようとしてくれているのかもしれないね。

（なす風土記の丘資料館）

学芸員 木村友美

いごいご

おくやみ



薄井	杉本	田所	笹沼	小玉	高野	益子	磯	山下	薄井	三尾谷	塩澤	(氏名)
那槻	光優	陽音	遥花	光輝	竜玖	尊琉	有裕	莉世	華音	志	杏実	(父母の名)
陽子	寿子	素篤	み巧	和舞	由香	一志	忠美	里美	幸枝	真一	笑美	(住所)
浄法寺	片平	小川	小砂	大山	松野	久那瀬	小口	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭	

(氏名)	(年齢)	(住所)
星孝二	(86)	馬頭
齋藤ケイ	(75)	馬頭
高橋ハナ	(88)	馬頭
小柳てるの	(94)	馬頭
深澤啓一	(60)	和見
中村ミカ	(81)	久那瀬
鈴木ミヨ	(85)	富山
滑川智子	(50)	谷川
佐藤千代	(77)	大山
佐藤フク	(97)	大山
助川忠義	(79)	小砂
田所キク	(100)	小川
岡誠	(84)	小川
黒崎清壽	(71)	小川
鈴木ヨシ	(87)	小川
小林清子	(85)	小川
清水リン	(100)	小川
久保寺菊江	(90)	三輪

掲載は希望者のみです。  
6月21日、7月20日  
受付分 敬称略

8月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	9,749人 (-1)
女	9,743人 (-1)
計	19,492人 (-2)
世帯数	6,075 (+10)

( )内は前月との比較